

1. 件名：「新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(大飯発電所第3, 4号機 設計及び工事計画(火災防護基準の改正に伴う基本設計方針等の変更)【14】」

2. 日時：令和3年5月21日(金) 10時00分～12時00分

3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室(一部TV会議システムを利用)

4. 出席者(※・・TV会議システムによる出席)

原子力規制庁：

(新基準適合性審査チーム)

関企画調査官※、鈴木主任安全審査官、畠山安全審査官、岩野調整係長

原子力規制企画課 火災対策室

守谷火災対策室長

関西電力株式会社：

原子力事業本部 保修管理グループ マネジャー※ 他8名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

- ・資料-1 大飯発電所3, 4号機 火災感知器増設に係る設計及び工事計画認可申請の審査スケジュール(案)
- ・資料-2 大飯発電所3, 4号機 火災感知器増設に係る設計及び工事計画認可申請のコメント回答について
- ・資料-3 大飯発電所第3号機(4号機)火災感知器増設に係る設計及び工事計画認可申請 補足説明資料(抜粋)

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:32	<p>はい、関西電力原子力事業本部、桐島でございますようお願いいたします。それではまず、本日の当大飯 34 号機へ火災関係のですね、公認のヒアリングの御説明の工程から説明させていただきます。すいません資料はですね一気に担当になってございます。資料ナンバーっておりますが、資料 1 がですね、審査スケジュールで資料 2 がコメント回答についてということでパワーポイント以外の主要伺っております。そして資料 3 が補足説明資料となっております。それから本日の御説明はですね、資料 2 のパワーポイントのほうを中心に御説明させていただきます、後程資料 3 の補足説明資料で一部発足をいたします。その前が最後にまとめた資料 1 ですね、今後のスケジュール等も 5 ということでさせていただきます。よろしく願いいたします。よろしいでしょうか。はい。かせる原子力事業をしてございます。それでは皆様お手元の資料にもPowerPointの費用を確認くださいませ。／ポンプで見直してある箇所を中心に御説明いたしますが、最初のところからですね、全体を通して、ここにはこういった趣旨のことを書いてあるといった形も含めて、ご紹介ご説明したいと思います。それともう一つ、資料 2-1 と 1 枚目が目次ということでございます。お答えいたします。2 ページ目でございますが、今のこの頻繁会合でいただきました 7 のこのといてまして、そういう対応を記載してございます。まとめてございます。4 ページでございます。初めから 4 ページの設置許可との整合性についてという整理でございます。このパッケージを提案からの吹上御説明したものと書いてございませぬが、審査基準を左側におきまして、中に設置許可の本文添付の記載事項。今回の設計の中で対応して以降の丸に書いてあった関係づけを、これはおります。煽り囲っているところがですね、乾固異なる感知器をまたセキを選定して組み合わせていくと。よく踏まえたポンプ伝播こういうものといったところで、見込みの部分はグリットで障防法かって消防法施行規則に従って設計するといった状況踏まえて、結婚の中で具体的な設計をですね。輸送体制というの関連でございます。ページをお願いいたします。先ほどサンプルと同じこととなりますところの上半分を書いております。大光ですね、整理した上で、バックフィット前／再稼働申請の単位期待事項とですね。今回の復興について設ける期待事項と怖かったのかといったところを中心にイメージに合っていております。お 2 人はですね、これまでの審査委員、コメント回答の流れといったものをまとめておりまして、ただ残る論点としては高い場所のエリアに関して、それで、ここで、5 ページのところはね。本会ポンプの中で 10 点からの方に御審査基準に基づく火災区域かといったものを設定してございますが、工認の中ではですね、さらに上期の設置、より細かく確認いただくという意味合いから細かく細分化して見ていただいておりますが、こちら設計の中でどのような記載としてございますこの辺りをですね、下のところでは評価船舶の期待事項と設計 2 で壊れているところで、例えば細分化したといった関係をしているなども</p>

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

含めていただいております。目次をお願いいたします。6 ページ 7 ページのところですね、ここからは放射線量が高い場所、メディアの火災感知器の設置ということに関して、6 ページでは、左側に審査基準を決めまして、右側いい線量が高い場所、において、どのような対応をとるかといったことによって容易でございます。こちらが少し前回の資料ヒアリング資料から書いてございまして、審査基準はこれで先ほどもありました青で困っております。と感知消火のですね、配管機器の組み合わせと誤動作防止等の要求があるところ青いアプリまして、それを受けて、右側の放射線量が高い場所、メディアの中で、それと安全機能を有する機器が入っていただいて、かつ火災によるその諮問をしてあるエリアをですね、火災影響本類似こと。発表いたしまして、方向につきましては、非常に大きいと直接やるということで、この案を要求を受けつつ、加えて、何が起きたのですね、管壁に関する消防車のセキをこの緑側の事項も、前どう障防法または同等の広報日程と、ということですね、この両方配慮するよにということで整理してございます。一方、右側の下の方影響分類Bというところでございますが、こちらにつきましては、安全機能を有する機器等がないとで火災が想定した場合にも購入品起こす恐れがないといったエリアでございますので、というところがですね、非常用のものはないんですけど、新設エリアの影響軽減、この法律は必要ないやということで、私どもも、これについて下三つぽつとおりますが、こういった三つの報告の考え方で管理局不正することによって対応するといったことを期待してございます。この 6 ページの下側そうですね今回改めております。7 ページをお願いいたします。先ほども要望事項といたしておりますが、本部のポンベに加えて、いや中の本業の御説明ばつか出て高いのか、部分的に拡幅低いところがあるのかとこういった観点からですね。今は三つという形に仕分けをしております。これも前回示しておりましたけれども、かなり一杯ですね、やっぱりこう昨今でございましたので、少し整理いたしまして、2 人を加えさせていただきます。特に今回エリア分類のところですね、ピークのところもですね、内全域が現状高い場合なんだけれども監視可能な場所に断るか工夫していくといったことが、その考えでございます。すみません、19 ページをお願いいたします。バッテリー救済決まっても、ここは記載事項が書いてございます。以前からですね、放射線量が高いことにおいて、基準上場言った要求事項があつて、それを受けた選定が、それに同規模、といったこととの関係が使えるのかといったことということでございましたので、白血球景気は大阪府でまとめた資料でございます。4 ページをお願いいたします。10 ページのところ、12 ページ目につきましては、先ほどまでの反映っていうカテゴリーに分けた部分をですね、これまで整備しているものが 10 ページでございます。それを実際の環境どう適用させるかという組み合わせでですね。について記載してるのは、11 ページになります。11 ページのところ、一番下の東京本部のミイの嫌なんですが、ここにつきましては変わって下方に 9 日ここに設置すると。先ほどのまんまでもですね、関係先だったと。こともございますので、ここについては、エリアに応じ

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

た組み合わせ方法を検討するというごさいます。説明を2ページのほうへ持って行っております。12ページのところは、線量が高い場所に設置するというごさですね、基本ケースといひますか、設計として左側に書いた上で、しかしながら基準はこれで満足されているんですけれども、私ども関連項目というところに、ところでやはりITの人数、交付金が強まり海域のH以降については実際のかかる人風化と講じた場合に、これ私共の観点なりますが、被ばく管理等の観点から望ましくないといったことを考え項目になってごさいます。私どもといたしまして、2週間というやり方をここでは右側に展開してごさいます。設計っていうの対応方法についてそれぞれ記載してごさいますが、いっぺんにおきまして、基準適合性という観点では、いずれも満足していると考えておりまして、先ほど私が来ててもが設定値についてですね。おりました観点につきましては代替案である設計に設計しては、よりよいということでごさいます。その上で評価としても、改正の方やってるのは、設計等々で頑張って校正がしてくれてということから、私どもとしてはこのここでの対応を考えてごさいます。13ページをお願いいたします。13ページから4まで行きますが、ここはですね、バイロンとして放射線量が高い場所というところでのエリアが抽出されておりますので、その事務についてどのような規模を言ってるのかないのか、参らないの方に距離よりIPPの投票あるのかないのかといった事項をまとめたものとしてごさいます。ここもですね、もうこの左のところから真ん中の辺りまでは特に最近はごさいませんが、別途エリア分類の中のB-2、ここにつきましては、先ほどもせつかく帯という対応の説明の中で、ここへ対応のほうよりますので、これにつきましては個別の復旧の方法について提示14、例えば⑤番の科学化学的影響、設備の建てとバルブであれば14ページから17ページをご覧くださいっていう形。これも御説明を後ろのほうでさせていただきたいといった工程でごさいます。ここはそうやっていただきました。専門性をお願いいたします。14ページにつきましては、私どもがNUSしております。その作業員の被ばくという観点から、今回の工事を検討検討した場合にどういったことになるのかといった評価結果でごさいます。こちら側からですね、11につきまして、機器を運転中、定検に分けて、現状はどうである。そいじゃないの、ほかの部分について戦略とかないのかといったことを確認させていただいてごさいます。この中にですね、⑤番⑥番⑨番⑩番といったところ、売り上げといいつつ、それから共同するところなんですけれども、これもですね、後程後ろのほうの資料で、御説明いたしますが、づらいにつきましても、7000円であって、線量が常時、こういった状態であるといったことをですね、踏まえまして、換気の徹底に工夫が必要であるといったことを、この14ページでは、まとめてごさいます。続きまして15ページ以降、このエリア、説明になって参ります。15ページからですね、⑤と⑥の話をして提供いただく戦闘バルブのと合わせて6番の費用の打鍵当該部ということでごさいます。こちら側にITB学科の当面がごさいます。今回ですね、ちよつと注釈として記載させていただいてまして、このネットバンクという呼び方を私たちの区

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

画の設定の仕方がですね。別途あったり、まばら設計されてる雇うセンターが設置されている総称しておくとしてきております。で、この中で、ちょっとこの右側の上のほうになりますが、悪者設定エリアは消防法施行規則、ということでございます。こう赤で囲ってる⑤とか⑥のあるところまでねえとひどくなるところの⑦とか⑨なんて見えてるところになりますが、そういったところにつきましては、消防法施行後にできるんですけれども、申し入れる課長、ここがですね、私ども線量が上昇した回答ということで、対応に工夫が必要といったところで、ここは今回ですね、例えば設計屋というのはまたこの中で、私、させていただいて結構だということでございます。18 ページをお願いいたします。16 ページにつきましては、このピンクでハッチングした建屋につきまして、どのようなことで対応ができるかということを検討したことを期待しております。ここも中ですね、線量が高いということを踏まえまして、どうやって活気ができるかということをお察しました結果、左側の漫画に記載しておりますが、そのバルブ使えて待機されていく。その中にですね、或いはログ式の煙と熱感知器を設置することでもって、もし万が一、このバルブ室脱線等ですね。円筒のところの値があった場合にもこのだったとの関係で、でもって活用できるようにというふうに考えたものでございます。管理することのまた、開発説明につきましては上に書いて駐車しておりまして、内の火災の関係について風速 5 メーター/s 未満であれば環境の考えであると考えているというところでございます。そういった時期を注釈として、17 ページ、17 ページは、そういった配管を設置ということについては換気が可能であるのかといった観点からですね、まとめたものでございます。室内の風速というものを込めまして、落雷風速というものが 5 メーター/s 以下であることを確認したと思うんですね、実際に考えていたの部分でですね、そういった方がいいのイメージとしてあって高低差としてそれが天井面に到達するのを 3 メーター/s 5 メーターチェックのとき雨カバーしてくと仮定した場合にですね、2.8 秒ぐらいで線量評価途中ダクトから排気されていくということから右があった右側の方へ関係、3.5。いや、そういうことで、そういった可能であるというふうに考えてございます。18 ページ。お願いいたします。18 ページは、⑨の費用済み樹脂貯蔵タンクの廃棄物と写真等の説明でございます。これは従前から同意していきますとかね。9 ページです。状況ページはその頒布についてですね、上の部分がより後タンクがあるエリアの関係で、今期の流れはどのようになっているかということをやっていただいております。この後につきましても、この使用済み樹脂貯蔵タンク、ピンクのハッチングをしてございますが、ここは非常に線量加工でございますので、ここ監視する方法として、排気ダクトに設置すると。これはデイタンク低いとありますが、いずれも 5 メーター/s 未満であることを確認しております。あと、なお、産業界の中でですね、なお書きで常務エリアのコンクリートの規模と背弧以外に開口部が存在しないということでコンクリート部と今から吸引してきましたがですね。排気ダクトを通じて、はいはいはい。ここはラップ側に設置したアナログの煙と熱の関係で、このような考えでございます。20 ページをお願い

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

いたします。先ほどのですね、具体的な担保の妥当性等の進め方と同じでございますが、宅内の風速等も考慮してという形企画ここなども考えた場合にですね、火災感知できるかといったものは掃気監視するというふうに考えてございます。21 ページからはですね。また、次の 10 倍の炉内計装用シンプル配管についての設置でございます。右側の場所も今回する関係としましてアナログでないんで、来ないですかってのもあんだと、あとその左側上のほうにですね、来の煙感知器並びにですか。この広目にしてあるところはですね、入口部分ですね、この辺りは線量が本来書かなくて、アナログ式の煙がつけられると考えてございますが、このピンクのハッチングをしているところにつきましては、天井が高いということからですね、県としても来てないんですが、受けられるとこのような考えでございます。お願いいたします。この 110 番の炉内計装用シンプル配管っていうところはですね、ちょっとあのその人の運転状態定検というところで、この一つ前の現状のものは状況が異なって参りますので、そのことについてちょっと三つに分けて御説明させております。一番上がプラント運転中でございますが、このときの線源と申しますのは、これも直さず、今の原子力っていうところに書いていますが、当然原子燃料であったり、そういったものが当分科会各部会出力でございますので、これを電源と非常に高い線源で、この中が線量が高いというふうに考えてございます。思いまして、右側に書いておりますが、換気連結必要があつて、運転中の保守も困難いうことでございます。で、次に下二つ分けておりますが、定検中なんですけれども、／らしい括弧書きでちょっと分けて書いてますが、シンプル引き抜き毎年引き続きこと書いております。原子炉容器の中に挿入してある深部ではですね。前の状態等をそれから、定検に入るときに出身部本店は経費でシンプル引き抜く前の段階ではごく一部のところまだ線量が高いんですが、先ほど御説明してました。トンネルを冷やす I F トンネルと書いてますが、そういったところの線量は上がってきておりますので、この期間であるんだらうと全停線量率は低下しているの、先ほども説明申し上げておりましたけれども、こういふことは可能であるかこのように考えております。だから、時可能なんです。そういうものを置いて参りますのがこの温度の内に引き抜かれてきますので、これがいろいろ検出傾動してきた場合には、こちらの方なんかシンプルがまた線量を高くする原因となりまして、この層面内の線量が高くなっていることでございます。なので定検中というところの引き抜きといった報告がされている間はですね、非常にセキが困難であるというふうに考えております。23 ページをお願いいたします。23 ページから 24 ページにつきましては、そういったに御説明した資料になりますが、甌海峡の中に 13 ページでは、別途入口のアナログの煙感知器を二つ。取りますと、あがるの換気が一方にございます。下のほうに先見ていただいたときに、配管内のところにアナログでないかんというものを今回追加してございます。これは先ほどのシートの全中の深部引き抜き前線量が高く患者ならここに設置することは可能であると保守点検項目の最後ですね、深部引き抜きさせている。であれば、こう

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

いったことの確認等は可能ではないかと考えておる。24 ページをお願いいたします。24 ページのところから、その近傍配管からの、さっきも原子炉容器から下に繋がっているループ。そういうところでございます。ここに先ほども深部配管に送気されてきました。原子炉容器の連成劣化空気がこういったものが、ループ室のほうにですね。空気が流れてくるということになっております約 8 割が良くないようにするというのでありまして、この流量最終的IPをもってですね、この右側のほうに書いてございますが、このループのいや一番外側と申します。もう一遍入口になる。このあたりにですね、アナログ式の煙感知器を設置しておりますんでこちらでもって点検用といいますか、金利を配管から出てきた結局次の関係も可能であると考えております。続きまして、25 ページでですね、関係の流れといったものを時間軸に沿った形で 25 ページにまとめております。当 25 ページの上の左側にとかされているので 6 よということであって、二つ想定しまして、ここから真ん中に原子力の稼働にこの空気が流れた場合、あって、どんどん移動してるんでは、この段階ではアナログ式でないですか、設置しておりますので、ここで管理できると考えております。加えて、この後、12.4 条の右側のところで、ホットレグ到達その後ループ室というところの 8 割方のIPはこの委託の取りかえというところで、県民の関係も可能である。主に考えてございます。26 ページをお願いいたします。これまでもですね、11 のエリアにつきましては、特に先ほどですね、個別のエリアは一般のところ、五、六、97 ころは特に関係の設置について詳しいことですね、おりますが、この緊対所全体を通してですね、1 から 11 のエリアについて、右側に消防法施行規則に基づいている場合のコストであるとか移行という観点で見て満足できるかと。こそよります。下にまとめとしてハタケヤマでございますが、中期のエリアのワインのエリア、についてはですね。評価した技術基準規則ちょっと確認。では、2 番目の矢羽なんですけど、これはBというカテゴリーが基準要求直接っていうのはなんですけれども、隣接エリアの影響を考慮するという観点から設定を工夫して対応して、続きまして、これ 8 ページのところは、燃料温度被ばくの考慮に関する基準要求されるパターンは業務従事者等の要求事項から、洗缶しまして、28 ページは、集団線量という観点からも実績との間がお伺いしたものでございます。ここまでに期待は変更はございません。では、すみません、29 ページからはですね。ここまでの 14 ページですか、ページで、被ばくの観点の整理表ということで一番まとめておりました、そこからですね、個別のPTのエリアで点検が何でこれは移動等によってやっぱりの方がいいのかと。観点からもですね、そういったとこかといったことをまとめたものがこの 29 ページ以降でございます。今日は科学的性状だって等々費用燃料ピットの縦のエリアということで記載しております。今のところではですね、それぞれに設定である 30mSv/hとか、配当変わったり提供であれば、内は 230mSv/hであると。ということで、状況になるのこれは学園通りですね、河成することによって、外の人線量低減と温度が上がってくるというところもございまして、そういったことでございます。いや、メンバーのアドバイスと書

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

いております。これはほぼ0%嫌とは違ってアナログの煙ですが、ポケットっていう考
えてるところでございます。ここについては線量が高く、この中でいただきたいの夜の
ところですね、権限である地震についての、まあそういった対応取ってるかっていうこ
とを説明させていただいております。別紙がより線量が高いとか、コスト点検を継続で
きないかといったこともあるんですが、受振の交換制度、この範囲ということではいっ
ぱいっぱいにおきましてプラントのプラント運転状態に対して、交換なりはどういう形で
やってるかということはこの設計なり、CVCSだけということではいただいております。
で、こういった2年後とか1定検ごとにとか、そういった交換頻度でやっているもので
ございまして、常時線量は高い状態が継続するということではございまして、施設外
への感覚的な部分をなしということから、先ほども御説明させていただければ排気ダ
クトに環境整備、ここで作業といった考えでございます。ページをお願いいたします。
ページは、使用済み樹脂貯蔵タンクでございます。こちらもう、その下の文言をタン
クの雁首こちらですね、使用済み立派なものが、それといたしますか、ちょっとされてき
ております。先ほどまで出てきましたいろんな施設がですね、最終的にこの協議という
ところにもうやってこられてというか、見通されて、ここに貯蔵保管されたという形で
ございまして、この線量が高いと。これ何かどっかまた輸送というこの余地がない
ということではございまして、はいいこうに環境ということでは対応することを考
え、31ページでございますが、先ほどまでの⑥⑨⑨とかできなかったわけですが、⑪
だったと思いますけれども、廃棄物こと。ところについても、対応でございますが、こち
らも線量というものがお願いがございまして。この場所はこの平面部に書いておりまし
て、下のこの廃棄物の期間になっておりましてお僕はこの上のほうになっておりま
す。10、あの写真のほうでありますが、直近の奥の方がですね、この部分というところ
の、今30ページの上にご理解ください。コラムが多くの方から決められているところに
書いてください。今状態としてですね、この屋外の復興の岩盤を含んでいるところにつ
きましてはですね、1ミリシーベルトパーを本来手前側も政府との回答もないところにつ
いてはですね、／。当然でございます。今のところですが、ドライアウトすれば、燃料
棒制限をそういうふうにご考えてございまして。ここで確保できるかと思っておりますが、ドラム
缶困りま子この物品復興中でですね、40行動かしながらということから、加えて、こ
は委員長及び遮へいといったことも考慮すれば、05mSv/h制度面ではないかと考
えておりまして、この日廃棄物につきましては、こういったドラム缶を動かすことによっ
て、いや、動かしながらやっておりますというものを進めていくことで考えであるというふう
にご考えてございまして。流れとしてはですね、2次廃棄物の管理という形で書いておりま
して、単協ページの右側ですね。通り別途アナログ機器内のポンプが壊れて今こ
で換気これを今後、はい。この段階の／工夫をしながら工事を進めていく。考えてござ
います。すみません、一般的に33ページが被ばくに関する確保ということで報告を説
明させていただきます。考えられる。エンドウに7ページを考えると、作業員。今回、な

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

るほど。はい。もうとしては大きなものでございます。前提条件、だけど、どうぞ。33 ページになりますけれども、ここに示します。江藤委員。はい。今、可能である。はい。すみません、御説明があるんですね、資料についての御説明になるのですけれども、今換気をですね、こんなばかげたところに設置することが港南であるというところの説明につきましては、ほぼする点がございます。恐縮ですが、すべてさせていただいて事業一般の方をご覧いただきたいんですけれども、起こつ説明資料のほうでですね、やっぱりこれも弁が開床について、現場はどういった状況にあるかといったことですね、ハマダのほうから御説明させていただいて、関西電力がハマダれて資料3をご覧くださってというようなですね。だから、はい。方にははい。実際、第3号、議長。それで、こちらの今、また、そう。そう。また、それが、あとですね。だから、すみませんセンター、あと具体的であって、いわば。はい、ほかのですね、配管が設置されています。こちらの当然、御説明はい。新しいデータでございますが、そして、メディアのまた、最後ですね。ただ、非常にそう。そう。じゃあ、はい。⑤は、⑤の提案について諮っておるとさせていただきますが、はい。今回ですね、これは3号のほうには今御説明した点に加えまして、ポイントとんですね、さしていただきました各エリアにおける設計等はですね、後ろの方にも反映させていただいております。事業本部からの説明は以上になりますので、すみませんが、ご確認ご質問等あればお願いいたします。そう。10 ページ。これ、できます。一番頑張る。はい。このはい。あと、ここで丸になって本文のところでは違うと思います。委員長。はい。関西原子力事業本部、引間でございますのが御質問の件なんですけれども、設計に対する被ばく評価の観点から確認としましては、33 ページのところではなくって、32 ページのところ、まずアナログ式ではないんですか。いきなりよく聞く認識の変換器設置位置とした場合に線量が超えてしまうと、それからいくということをちゃんと定期的でございますので、それもちょっと確認されますと33 ページのほうはですね、それについての方をスタッフ等で濃く等によって、問題ないという結果が得られたということの評価したものが33。はい。以上です。委員長。ハイパー事業本部、大島でございます。ご理解の通りで33 ページにつきましては、設計になって、ファンといった工夫を施設することによって対応した場合の評価ということでございます。それから、今、何か。移動させていただきます。もうこれ以上はあります。これ、はい。赤坂屋間でございます。前線量させる工夫ができるかという観点で確認した資料はですね、94 ページのところは報告と止まっていますが、29 ページから30 ページまでが、050609 の話県でございます、そこについては工夫のしようが何か一つで、⑩納品分に関してはですね、ちゃんとセンターに内環境作るとか、あと、⑪-2 廃棄物等含めましては、31 ページで先ほど御説明しましたようにドラム缶を工夫していっぱい移動させながら、アナログの取替用水変わらせてことはできるだろうというふうに考えましたので、マニュアルとか割引はそういった工夫も織り込んだ上での設計で問題ないことを確認ということでございます。はい。Bいや、PARの33 ページは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

はい。はい。はい。PARのそれぞれいかんと。委員長。一番それぞれ場合の被ばく線量ば時間みたいなのか。エンドウ現実のものであり、こんなような時間だったり、エンドウいや、こちらでも同じぐらい。一番下、賛成です。関西電力大飯発電所のミイです。隣に感知器を設置する場合であっても妥当な改造とかが必要ですので、1日目にValueない空気吸引式の英語煙感知器を設置するものと同ぐらいの作業時間がかかるものと考えております。以上です。電力厳正なハマダと思う。まず32ページの絵の表をご覧ください。○に合わせた条項でここで、右側が来ておるんですけど、まず短期講座がしますみたいな媒体管理。30%とこれは33ページと同じ、ただ、復旧。/mと書いてございますけど、僕は24はい。33ページは、じゃあ、初めということで、それに関しては耐震性を確保するためにいろいろ設けたりとか、あとこういう状態にある。そういったのを非常にいう形でここはタンク辺りになっていこうというのが増えてるのが、煙でございませぬ。33ページにつきましては、パワーっていうのは、これそれが3、それから、渡辺はい。/施行はい。一番最後、はい。聞いてないですか。はい。はい、そう考えると、原子力事業方針でございませぬ。富ジャパンページをご覧くださいませぬですけども、私どもまずちょっと考え方としてなんですけど、アナログの煙感知器につきましては、私どもこの中で受けられる場所としてですね、左側、すいません、白抜きとしておりますけども、設置かな一所に穴の煙感知器をつけるということで、こちらでもって、まず対応したいというふうに考えてございませぬ。今ちょっと御質問のありました通りですね、このピンクのハッチングをしているところはですね、三中22ページの資料などとも御ご発言いただきますと、運転中とか経験というのはシングル引き抜きのここですね、100mSv顔を覚えておりますので、ここにアナログ式の煙感知器を設置しても壊れてしまうというふうに考えてございませぬので、そういった観点から受けられるところとして、左側の白抜きのところに煙をつけて、壊れて、この生かしてるんですか、空気が原子炉容器の速度から独立に行った先のループシール手前のほうでも、煙感知器で感知できるようにということで対応したいとこのように考えて、だろ。関西ウシジマでございませぬ。ただ、御指摘を踏まえまして、ちょっと今資料確認をしておりましたが、すいません、33ページの今回の広報した後のプロセスとしてはですね、⑩番のいろんなシンプル配管室の今回は設計の考え方。評価した形は超過しておるんですけど、32ページですね、要は学び切れないんですか。いや、今モリヤ様から行った空気形式の煙感知器をここに⑨番とか施設とした場合には、こんなことになるので、対応ができないですということが一つすいませんこのペン⑩番の説明入っておりませぬので、いたしました32ページに⑩番の内の深部配管室で①②の組み合わせをする場合に困難であるというところについて御説明補強させていただきます。はい。/等、はい。資料は、。わかっている。はい。関西ウシジマでございませぬ。運転中とかですね、そういったところの洗浄が高いということもありますけれども、/含めてもですね、以上これまで作業量を考えて拡散で考えた場合にですね、変量としては高いと判定としてはバツに

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

なるというふうに考えてございます。／作業。はい。どうぞ。になるんですけど。はい、内山でございます。今モリヤ市長様のおっしゃる通りですの理解でございます。委員長。はい。換算ウシジマでございますというのは市長様からご質問のありますとつきましては、資料のですね、先ほどのハマダの方から御紹介したところなんですが、資料3-93ページ。になりますけれども、炉内計装用シンプル配管室の干渉物撤去ということで、3号の15名シンプル配管室の上面断面図とありますが、実際にはですね、この中に、チャリティー水系とかは全然間どういう件数っていうそういったものもございましてということであります。あと、加えて、それと6-18というところで照明配置図なんかを図るということで、まあそういったものも反省も普通というところで13。ページの上の文章の中のですね、最後2行になるかと思いますが、当該エリアの話をしてコンクリートわかるシンボル。眼科適用の電線管考えられ、これらを考えておくということでもあります。斎藤さんとか、すみません、もとにですけど、先ほどまでのですね、各解析セキ学園都市とかですね協力実施のタンク室っていうところのsafety2個。これですね、今後のください開発を置くまでから広い視野でございます。この辺り干渉避けながら、その空気吸引の配管を敷設していくと。ここに付きまして、この32ページで今設置作業交通とを考えてございますが、この交通ではいけないというふうに考えておりました、この⑩番にも、シンプル配管室のに関わる人部長させた作業工程のこれらも大きくなるものと、いうふうに考えてございます。以上です。はい。ほかに。はい。はい。それからハマダ。シンプル配管室のほうは、第3路線という構図で、出ますが、こちらも例年のところは、あと、そう。立ち上がります。これですね、ここはちょっと／が実際あるので。ただ壊れているかということがですね。皆様の中に合わないようなところまで、議題3は最大の立ち上がりのところまで、というようなイメージを現状持っております。こちらがそれぞれ環境部長。これ議長。はい。議長。グラフをもってですね。足場を設置しないと駄目なんですけども、こちらの第3-6-15年／やはい。そこは現場の実態であると考えて、6時の資料のほうさせて、ただ、あと、ただですね、はい。わかりました。はい。はい。はい、先行していただく事業者の事業方針でございます。今モリヤ様からおまとめになった点ですね、こちらのほうも理解をいたしました設シンプル配管については190基を設置するとした場合にはどのような形で考えているのかということについて、頂部とかの上部に煙を吸引するような配管の接続箇所を考慮したときといった形になるのかということを非常に反映したということで承りましたので対応させていただきます。結局セキで割り込んでいいですか。はい。事務局の話なんですけど、ごめんなさい、2ページ目のところの説明資料もまたPの話を多分言っているんだと思うんですけど、で、ここではもらって向けの認識の煙感っていうのは、発生の確保マルバツっていうんで。一応概念的には、設置可モリヤPもつばらできないっていう考えが決まってん量が大きい資料を見ると見えるんですけど、これで間違いはないですか。アンカーされる児嶋でございます。今おっしゃる通りの理解でそういうございませ

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

ん。網羅性の観点を確保することを退任する場合に、煙空気休止期であれば、その中のいろんなところから空気を取ってくると。こうするというので、工数とか人数理解をするということが最終的な被ばくに聞いてくればこの完成からも好ましくないというのは私どものページでございます。委員長。目的は、PARいわゆる作業、その前条ね。これは明らかになっていないから、関西電力所っていうふうには私は理解しています。ここのは多分、はい。今回ここに限らず他にも三つもちゃんとしては説明いただいた上でこの評価はっていうふうになってるんだけど、こういうふうなのかっていうのはやっぱりこれの数字で言うことが、多分ほかの三つはできたらはできるということですか。違うのかというふうに車でございますが、今の関沢様、ご理解いただいた点で私も同じ認識でございます。ちょっとその理解をですね、補足で資料3のですね、7ページになりますが、泉ですね、これはあくまでも漫画といえますか。イメージということでお示したところでちょっと泊まっております、7ページのところの上のですね。音量面から見たということで、例えばいろんな配管とか、突起部とか、干渉物があった場合に、7ページの上はこれ光ファイバーとかはどうかとか、空気吸引式の煙感知器で、例えば、今お話に出てます空気比であるならば、空気配管がですね、干渉物を避けながら、今設置していくことになる、これあちこちの空気を取り込んで、最終的には線上で低いところについて、3地区で炉心が可能という公費でございますが、そこについて今やりくりをしておりましたので、モリヤ施設もおっしゃってから、今回のシンプル配管室ですね、線量六つ天井部のところの空気を取ってくるところが、オンライン干渉物をごちゃごちゃしないのであれば、そんなにすごい配管の引き回しとか、ならないのではないかといたした御指摘をいただいたんですけども、この辺りをちょっとですね、示し質問は、もう一つの資料には、ということもありましたので、ちょっと工夫してお示しすることが必要というふうに今感じております。以上ここまでです。はい、関です。特にこうするっていうところ申し訳ないんですけど、今日はい。もうこのところは逆に言えば設計の1って書いてあるんだけど、これ意見の反映のところもあわせていけない観点連携できないということと私は理解。それとその後の話でいくっていう理解で私はいらんでそこが明確になって思ったなっていうのが1点をもう先ほど申し上げた通りの位置で評価バックって書いてあるんだけど、それが担保を資料の構成の中で評価結果がちゃんと生きなでここを見てくれれば言えばわかるようにね、各4嫌だなっていうのが、その上では重要なことと思いますので、そのところ、しっかり資料として前いただくようお願いします。はい。ちょっとまとめていただいた点、承知いたしました。基準適合施設としての網羅性という観点と被ばくという観点できちんと分けてということでこれは以前からおっしゃられてるんだと思いますので、この点、注意いたします。あと今回設計という評価をしておりますが、それがその対象となるエリアについてですね、これこれこういうたから、やはり被ばくの点からこの場所代ということですね、例えば資料3の補足説明資料で読み込むについても、そ

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

こは説明できるように充実いたします。はい。です。お願いしますは無理するような言い方で申し訳ないんです。ということはわかるんですけども、最後はやっぱ数字的にどうかっていうところでやっぱり判断をしないといけないのでただ単にバツって書かれているようなそう通りませんので、そのところがちょっと理解とかお願いウシジマでございます。ご指摘 5. 承知いたしました。はい、それでは六本木のほうに参ります。はい。関西ウシジマでございます。はい。おっしゃられる通りだと思いますのではい資料 2-12 ページの結果を御説明 10 こちらの資料 3- というふうに御説明こはまず対応くださる説明できるように、ここへ出します。ありがとうございます。これ、そう。はい。もうはい。関西電力、桐島でございます。今回のバックフィットの改定の際はですね、私どもも人されるところについては対応させていただきましたので、理解はしております、要求事項としてこの乾式の説明、このっていうところも青色ハッチングないしは囲ってあるところですね、ここは従前からあったわけですけども、やはりその結果方についてですね、受け期待が明確にはされてなかったということで、そこが追加されたということで理解をしてございますので、今回これを具体的な設計として確認いただく場としては結構人の中で具体的な中身をお示するのは、適切なであろうと、このような形で、今回、先生に繋がっている次第でございます。以上です。はい、関さんでございます。この 3 ページの下のページですね、私も今モリヤそのから潜っセキいただいた点を踏まえて聞いてますとやはり海域の設置に関するですね、結局方法が明確に書かれたものであると。これは受けとめておりますので、規制要件追加されたものだよというふうには環境分析方法の明確化といったものであると、そういった趣旨で見直しをさせていただきます。これありがとうございます。はい。はい。電力ヨシザワでございます。議長。開放検査等はないというよりは、火災防護審査基準では、安全ようなどうやっていただいて、はい。後放射性物質の閉じ込め機能、当該液体というこれ、はい、これはこのおやりたい方向となるよ。だって、朝長委員。火災影響分類Bというエリアについては、こういった安全機能を有することがない、或いはあったとしても、火災により、企業、それが無いというところなので、ここへと審査基準で求められている場所には当たらない。そういうで直接受けない。明日ちやうよ。エンドウはい。PARこれ、はい。やれば関西電力でございます。火災防護審査基準で要求されているのは、くいとかという単位はい、規制がある。要するに気体ありまして、今回パワーポイント資料、資料 2-5 ページになりますけども、今回工認で上期の設置方法を具体化するにあたって、この火災区域区画をさらにですね、細かいエリアに細分化したこの各エリアに対して、どのように、基準が会社といいますかいうのを適用する形でマーケット的にいうところで提示したいのが、この 6 ページ。なんて、このエリアって書いてあるのは、5 ページで言う細分化した細かいエリアごとになるのかというふうになるのかという仕分けをしていっているというところで、大きな意味で、火災区域区画に対しては、フィット要求ここで言っていて、この細かいやに対してどのように考えるかとい

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

うところで、平均でございます。説明はい。Pdの区分に該当し、内については、こうい
ったスズキ様のおっしゃるやな。今のところ、⑤⑥今後、はい、関西電力ヨシザワでご
ざいます。この変わったってというような脱線とバルブとところで、流れと伝統のあるエリ
アというのがあるんですけども、この13ページのまだ出しという評価については、どっ
ちがある。ないというところを書いておりますが細かくバグバルブ一つなのか、東南稜
高校の撤退やなのかというところで、終わって説明する場所について、では、括弧して
バルブとか、また等ができた板部屋とかそういう対応に例えば33ページで、被ばく評
価のところ、操作32ページですね。円筒設置エリア括弧して30ページ書いておりま
すが、これは鮮新統の決定いただいた部屋に付ける場合というところで、ちょっとマニ
ュアル。前はまだ伝統がある物質なので、それを、を使つてるときは、両方合わせた部
屋と。ところで、分けて説明する場所、場所については発行して獨協てるのかというの
がわかるように、資料上期待しております。はい。すみません。あります。はい。ウシジ
マでございます。スズキ様がおっしゃってるのっていうのはこういうふうな意味での安
全出資重要度分類の指針のNFPA不安薬そのページに書いて話をおっしゃっていた
だきたいと思いますが、この火災防護審査基準の中でですね、審査基準をそのため
の考え方として、原子炉の安全停止と放射性物質の閉じ込め機能、これに着目して、
代替機能というところについても、用語の定義でこの形式の放射性物質の閉じ込め機
能というところを回る電気のパスと、いうことをしてございます。大砲も審査基準への
適合性を要する場合にはですね、十分に様々なところに警察官ではなくって、例え
ば、審査基準としての策定機能と閉じ込め機能はここに着目して、設計の妥当性を
ご報告いただいとこのように考えております。今日、火災防護審査基準の用語で一
番最初の用語の定義のところの計器が二つを記憶してございますので、はい。この
ところの申し上げたものでございます。はい、関西電力ウシジマでございます。審査基
準を報告。いただきますと、所もスポーツにミイの用語の定義の2ページのですね、
(15)ですかね、安全機能というところの定義を火災防護審査基準としてここでされて
まして、原子炉停止冷却環境への放射性物質の抑制、直接するための機能いうと、
いうことで、ここでは、火災防護審査基準の中で、定義をいただいております。ねえ。
いや、監査でございます。はい、6ページにセキで捕捉承りました一つでございます。
今、委員から、資料はされていると思いますけど。我々ましょう。はい。ウシジマでござ
います様御指摘いただいた赤で書いてカ店聞いたところというのは、ご指摘の通り、こ
ちらで修正を加えた点でございますので、本線ただ、先ほどの安全機能に対する注釈
等もいたしますので、それも併せてご確認いただければと思います。よろしく願いい
たします。委員長。議長。柳見直せば、はい。関西ウシジマでございます。カ店です
ね。また今後の施工の基本的方針の見直しも必要と認識してございます。加えて、や
っぱり教材です。御確認いただけますように整合性をこの辺につきましてもですね、こ
の一番最初の辺りでちょっとやりとりがありましたものが、それ以降の資料の確認は

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

見てございましたので、その辺りもちょっと今のやりとりを踏まえて見直したものです
ね。御確認いただけるように、また天引きしたいと思います。よろしく願います。あり
がとうございます。監査でございます。はい。そういった一連の今回コメントいただいた
点も含めてですね。ありがと見直したものを加えて、英語とか整合性であるとか基本
的な方針の見直しであるとか、そういったものの準備が必要ということで認識いたしま
した。別途審査会合という気概不動今おっしゃっていただいたんですが、もしこの後で
すね、日領域で品格給付というものをここにもあるかと思imasので、そこであわせて
ですね、今後の会合のダブリ等ですね、お考えがあれば、また確認させていただけれ
ばと思います。東北から以上でございます。セキでお待ちくださいね。今ちょっと電話
でちょっと伊ワノ委員長。ちょっと、お待たせしました。ちょっと次回の審査会合まで
どこまで盛り込もうかなっていうところが欲しい。すいませんとフリーをしたんで、ちょ
っとお時間をいただきます。それではですね、づくりは儲かっいやもう、基本設計方
針。ラフっていうところまで話はしましたけれども前回とほぼ同定やばいたっていうこ
ろもあるので、これはもともとこういうかっていう話になってくると思imasので、次回
はいつ確認をもってくるかなっていうのが余ったと思imas。それから今後について
も、6月半ばっていうところを考えると、組み直して、資料取り組み直したものだと思
中っていうのは多分、来週中で多分難しいと思imasので、またちょっと、この結果、資料
をベースに、何か意見いただければなと思imasですが、ちょっと関西全力でいこう。火
災区域でございますが、今おっしゃっていただいた対応がエアフィン社としてもありが
たいと思imas。今ご質問等のコメント集。トーヨーアサノの点はですね、きちん
と反映して御説明資料にも修正を反映したものです。技術確認として、会合に求
めるような準備を進めたいと思imas。IPとのわかりました。それで、細かい話は確
かにてしまったんですけれども、いや、やはり審査会合ではもう関西電力の必要ないこ
ろで、どうしても審査基準通り受けられない。これは、芸行い尾根っていうところも共通
認識はやはり持つてるところまで持つていきたいなあ。私自身は思imas。そこ
は多分つくったために、もう少しちょっといただきたいことをちょっと申し上げたいと思
imas。それで、私から14ページ目をご覧いただきたいんですけれども、この表の中
で、運転9で研究ということで、雰囲気線量出していただいているんですけれども、最
最終的にもう37ページですね。最終的にこのほうまで持つていくにあたってはやはり鉄
柱部下の作業センターの作業雰囲気等、点検まで保守管理をする上でも、両方につ
いてっていうのを咽頭ん数字として出していただければいけないと思imas。そ
このところ、ちょっと作業の中の雰囲気と連携の雰囲気というところにちゃんと直
つていただきたいと思imas。その範囲のところについて、14ページ目の白丸の5番
と⑥番の場所については、説明のところ、そう頻度が少なく、必要なタイミングで特
重点検ができないコメント。もうまた、もうどんなにルーズ委託しても大幅に下げるこ
はなくて、なんていうこと書いてあるんですけれども、ちょっとこうこういう見方とどう

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

してもここが冗長的なってしまうと、全国なんだよっていうところに、最終的には言ってしまうので、やはりその加工作業が比較的このぐらいだったとかですね、そういう定量的なところをですね、いただいているので倒産っていうていただきたいというふうに考えています。この部分よろしい。はい。関西ウシジマでございます。今のおっしゃっていただきたいんですね、14 ページのまとめではどうしても難しいというような説明しか言えなくて、それを仮に 20、27、29 ページですかね、内パンフレットいきなり昆布向けにいただいたとしても、ちょっと今コンターは、硫安説明ところではちょっとうまくやらないところもあるかもしれませんので、ポイント資料の工夫を検討いたします。類ですと、下階抜いたのが線源となる中浮いたのか、そういういろんな当然常識的にいくわけですね。ですので、やはりそういうことを行ってもなお、こういうことなんだ。ですとか作業確保作業でもこういうどうしてもらってこういうことやったことあるんだけど、こうなんだであるとかですね。なければ法定するしかないんだろうけれども、このところずっと語っていただきたいとやっぱり 29 単位っていうのは、やっぱりたくなるって言われても、幾つもっていう話につかないので、そのところをちゃんと四つ定量的に評価をしたという。なるようにですね、説明をいただいて、それで、雰囲気線量から本当にこうゆう任せについてのように、お出して、弁用外観幾つなんだというところで、作業としてあるのかなのかというふうに大きくとかという記載と、それから、部屋に関しては、これ関連質問ですけども、管理とかっていう、もし狭い行かないで、構いませんけれども、ここもところ、そうか。浅い及び発電所のミイです。次申し訳ございません。当タイプの点検については確認させてください。はい。もう当然こういう資料で照査していくっていう議論だからもう、私たちがズーツあのここ数回求めていているものっていうのは、いう育てていくんと。作業、作業するにあたってどういうようなところまで持ってきてんびん日程があるのかっていうところに、であるとかそういうところに行きますので、そのところは全部はしっかり確認したい。その上でないというわけでも正しい判断が、いなくても高いというような結果を招くと思いますので、そのところは、以上あれが欲しいまででございます。今の御指摘の点、承りましたので。はい、以上の反映のほうで個別で頑張りたいと思います。はい、わかりました。規制庁座っております。それでは、今回の資料ベースで、やはりここ駄目な場所がどこなのかっていうのをするっていうここに置いた会合をさせていただくっていうことが 1 回、それぞれ 6 月中旬ぐらいだと思いますので、それに向けて、費用も協定等を今やってもらえればと考えております。私から。今の前戻しこれ、はい。ありがとうございます。それではもうホームといいますか、今はちょっと組織でもですね、ちょうだいしましたコメントを磯子言っておりますので、それを御確認いただいて、出せればと思います。今協議いたしますので、今後、ここがください。皆さん共有で御確認。いらっしゃいますでしょうか。やっぱり、じゃあ、はい、今ご覧いただいているんですね、本日いただいたコメントで込まを資料に反映して参りたいと思っております。それと何か追加等で、はい。はい、もし追加等

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

のこれでそういう内科おわかりいただければと思います。いかがでしょうか。議論／。はい。すみません、よろしく願いいたします。規制庁の関ですね、すみませんもうちょっとあの確認できないと。本来忘れてしまったんですけれども、もうはい。ZPAのタンクって、これ。別途、そう。すみません、移送先がないっていうか、そういうようなこと書いてあったんですけど。説明いただきたいんですか。はい、木嶋でございますが、今、一般のおっしゃった通りでございます、ぜひそこタンクにつきましてはですね、こちらは最終的にこちらの保管場所いろんな趣旨も評価した方がここに見込まれるという格好になっておりまして、資料で言いますとパワーポイントの 39 ページとなっておりますので、すべてここにたまってくるとつから柿谷総務弁はできませんということで、ただ、先ほどおっしゃられた 29 ページの下のほうから具体的な補正という説明で見ほかのピットの検討をね、入れ替えたり、これ、この表を検討で先ほどの樹脂貯蔵タンクを送った後はですね。また線量が下がるんじゃないかという点と同じ状態があり得るということで、26 億の議論かと思えます。一般ページはもうずっと線量上がるばかり。ちょっとご理解で結構です。／tの矢羽のところ、であれば、現場の保管しており、保管気がなんてこれエンドウはい、そうしようと思っている先がなくても、これ。挙げられます。3 チームなんかでも、もう範囲内でやるしかない天気予報もやっぱこれしかないというのを待っているなど。今の添付の 5 ということだっといういうような色も何ですかね。情報をもらい、はい、答弁計画においてもこれ入ってないだろう。はい。内であるとかそういうことという情報でいただきたいんですよね。はい。関西電力福島でございますが、先ほどちょっと現場のほうにですね、最後の質問、タンクの点検について確認することという御質問がありましたが、その点ですねこのファイル共有的にこの 4 月期がこれずっとため、〇パンフであるということ踏まえまして、補填客考え方構造なってるのかということはですね、ちょっと確認いたしまして、新しい機能の中に反映すると工夫をいたします。承知いたしました。そういう趣旨ですので、またちょっと一般建機いただけなかったところでしょう。はい。ところを伺います。は、今、すみません、東京支社から言ったように、よろしいですか。先ほど審査会合 6 月中旬というようなお話ありましたけれども、具体的に一定というのはもう決まってるんでしょうか。詳細は、中旬というと 14 の週ぐらいと思ってよろしいですかね。目指して、はい、会合の前にもう一度ヒアリングで本日のコメントをいただいたものを確認いただいてという中でですね。量があればヒアリングはい。ではあの事業本部の方向とスケジュール感を踏まえて、いつごろにお出する予定なのかという。はい、関さウシジマでございます。今のやりとりをですね、商企いたしまして、来週の 28 日をめどにですね、資料の修正を反映を行った方がお出することで対応させていただければと思いますがいかがでしょうか。この今のその基準で以上でヒアリングをというようにはい、そう考えた方から何かあります。はい。特に特段ございません。資料の修正等頑張ります。ありがとうございます。もういいヤマシタありません。はい、ありがとうございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。